

## 循環経済・自然資本等推進ファンド 運営事業者の決定について

東京都では、2030年カーボンハーフ、2050年ゼロエミッション東京の実現に向け、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指すサーキュラーエコノミー（※1）への移行を推進しています。また、100年先を見据えた新たな緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を推進するなど、自然生態系の損失を防ぎ、回復させるネイチャーポジティブ（※2）の実現を目指しています。

これらの取組を一体的に推進していくため、サーキュラーエコノミーへの移行とネイチャーポジティブの促進に資するファイナンスモデルの確立を目指し、「循環経済・自然資本等推進ファンド」の創設を進めています。

この度、下記のとおりファンドの運営事業者を決定しましたので、お知らせします。

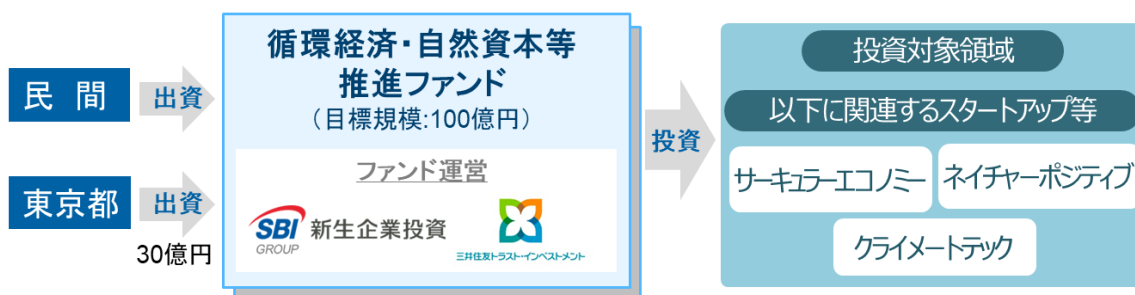
### 記

#### 1 運営事業者

豊富なベンチャー投資経験等を有する新生企業投資株式会社と、企業・地域・アカデミアとの幅広いネットワークを持つ三井住友トラストグループの三井住友トラスト・インベストメントが、双方の強みを融合することで、サーキュラーエコノミー・ネイチャーポジティブの促進による持続可能な社会の実現を目指します。

会社名	新生企業投資株式会社	三井住友トラスト・インベストメント株式会社
所在地	東京都中央区日本橋室町二丁目4-3	東京都港区芝三丁目 33-1
設立	2012年11月	2000年3月
代表者	植坂 謙治	吉田 憲正
事業者の特徴	SBIグループの投資事業における主要企業の1社。2004年に前身の新生銀行(現SBI新生銀行)プライベートエクイティ部でベンチャー投資を開始して以降、20年以上のスタートアップへの投資経験と実績を有する。	三井住友トラストグループにおいて、プライベートエクイティファンド運営および関連アドバイザリー業務を提供。同グループは20年以上のエクイティ投資の運用・管理経験を有し、サーキュラーエコノミー等の専門家チームと共に、本ファンドにおける投資プロセスを支援。

#### 2 スキーム



### 3 募集から選定までの経緯

- ・本年5月にファンド運営事業者の募集を開始
- ・応募事業者について、専門業者による調査（デューデリジェンス）を実施
- ・同年9月にファンド運営事業者選定委員会で審査を行い、運営事業者を選定

### 4 今後の予定

ファンド創設に必要な手続きを経た上で、今年度内に東京都から本ファンドへ 30 億円の出資を行います。

#### ※1 サークュラーエコノミー

「循環経済」と呼ばれ、従来の3Rに加え、資源投入量や消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動のこと

《サーキュラーエコノミーに関連する事業の例》

リチウムイオンバッテリー・太陽光パネルなどの無機材料やプラスチックのリサイクル、食品廃棄物等のバイオマス活用、スマートフォンや家電等のリファービッシュなどの、製品や部品を価値の高いまま循環させる事業、自動車や傘などのシェアリングサービス、トレーサビリティ関連サービスなどの循環の測定・見える化に資する事業等

#### ※2 ネイチャーポジティブ

2020年をベースラインとして2030年までに自然の損失を止め回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること

《ネイチャーポジティブに関連する事業の例》

汚染物質の浄化、養殖関連、化学薬品・化学肥料の低減を可能とする事業や、再生型の農業・林業・水産業などの生態系の保全と回復に資する事業、森林や生物等の生態系の状態のモニタリングやデータの利活用等

本件は、『未来の東京』戦略を推進する事業です。

戦略12 稼ぐ東京・イノベーション戦略

戦略13 水と緑溢れる東京戦略

戦略14 ゼロエミッション東京戦略

#### 【問合せ先】

スタートアップ・国際金融都市戦略室

戦略推進部 戦略事業推進課

電話（直通）03-5000-7005

Eメール S1130103(at)section.metro.tokyo.jp

※迷惑メール対策のため、メールアドレスの表記を変更しております。